

千秀だより

横浜市立千秀小学校 令和2年(2020) 1月31日

2月号



URL: www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

学校教育目標『自分で考え、表現し、挑戦しつづける子』

「時」を想う

児童支援専任 堀 彩香

寒風の合間に暖かい日差しが差し込み、元気に外遊びをする子どもたちの姿がまぶしく映えています。一緒になって夢中に汗をかいていると、あっという間に時は過ぎ、心が洗われる思いがします。時間は誰にとっても等しく刻んでいくものなのに、どうして長く感じたり、短く感じたりするのでしょうか。

イギリスの詩人、ウィリアム・シェイクスピアの言葉に「君、時というものは、それぞれの人間によって、それぞれの速さで走るものなのだよ。」というものがあります。それは同じ時間でも、人によって受け取る感覚が違う、ということなのです。

友人との待ち合わせの時、どれくらいの時間の余裕をもって向かうでしょうか。約束より前に着くようにするのか、ちょうどの間か、または遅れてしまうのか。それは自分の時間と同じくらい、相手の時間を大切にしているのかどうか、によるのです。

それは、学校生活でも同じことが言えます。朝は8:20までに登校することになっています。授業は45分間で計画されていますが、休み時間や休憩後に遅れてくる人がいたら、揃うまで待つこととなります。遅れても悪いと思わない人は、待たされている人の時間を無駄にしているなんて、微塵も思っていないのです。

時間に対する価値観は、生きてきた時を分母にして考えるとすれば、大人と子どもでは捉え方が違うかもしれません。それでも、自分とともに過ごす人と共有するという目線で、その時その時を大事に思っていくことが、自分の将来をよりよくすることになるのです。

私たち教職員は、子どもたち皆の幸せのために、日々の教育活動を行っています。一人ひとりが自分を大切にできるよう、また仲間を大切に思えるように、守るべきことはいろいろありますが、そのうちの一つが「時間」であると考えます。自分の行動が、周りにどう影響するのか。皆が気持ちよく過ごせるって、どういうことなのか。子どもたちは各ご家庭や地域の皆様にも教えていただいていることと、学校での指導を併せて、物事の価値づけをしていきます。ぜひこれからも、子どもたちの輝く「時」を学校とともに支えていただければと思います。